

1 評価者 学校関係者（学校評議員6名）

- 2 方法 第2回学校評議員会[2/14(金)]で「学校自己評価」を配布し、学校概要を説明した。「評価報告書」
 (A:十分満たしている B:満たしている C:満たしていない の3段階評価、感想・助言欄あり)
 配布し、後日その回答を郵送で受領した。

3 評価結果

	1	2	3	4	5	6	総合
学習指導	A	A	B	A	A	A	A
進路指導	A	A	B	A	B	A	A
生活指導	A	A	B	A	B	B	B
特別活動	A	A	B	A	A	A	A
開かれた学校	A	A	A	A	A	B	A
職員研修	A	B	B	A	B	B	B

4 主な助言

(1)学習指導

- ・教科書だけでなく、様々な道具を使って学習指導をしている様子がよく分かります。
- ・3年生の学習する姿勢や、指導する先生方の様子を見ると、学習指導は充実しています。
- ・熱心な指導をしている事象が伺われる。
- ・共通テストの結果が示されたが、対策の必要性を強く感じた。

(2)進路指導

- ・若い時はどうしても進学しなくてはいけないものではない。自分の目標に向かって10年後でも大学に入ることは出来ると思う。
- ・進路状況は良好でしょう。
- ・進路について細かく指導を実施している。
- ・国公立大学の推薦合格者が示されましたが、先生方の丁寧なご指導の賜物と理解しています。
- ・進学に当たっては、「合格がゴールではなく、大学でどういう学びをし、卒業後どうするかを考えることが大事である。」ことを指導して頂きたいと思います。

(3)生徒指導

- ・熱心な指導をしている。
- ・不登校生徒は増加傾向にある。先生方には、日々、生徒を見て頂き、生徒の様子に少しでも変化があった時には声をかけて頂き、必要に応じて連携しながらサポートして頂ければと思います。SC等外部の方々も活用しながら、困っている生徒を救ってあげられるといいです。

(4)特別活動

- ・班活動を通じていろいろ経験してほしい。
- ・探究発表会等高い評価があり、各種活動に活発に取り組んでいる。
- ・100周年記念事業では、生徒が大活躍だった。大きなイベントは生徒を動かし、生徒を伸ばす…ということを生徒の具体的な姿で改めて学ばせて頂いた。

(5)開かれた学校

- ・活動が新聞などに紹介されることは素晴らしいと思います。市民にもっとPRすることが大切だと思います。

- ・探究活動を通して、介護施設など外部と交流し、地域社会活動をしている。
- ・地域と一体となった学校づくりをしている事柄が伺える。

(6)職員研修

- ・先生方、もっと学校より外へ出るべきだと思います。
- ・先生方は外部で研修などに参加していると思いますが、今後、どのような研修会に参加しているかを公開できるようであれば教えてください。
- ・今の時代、生徒の心がなかなか安定しないということがいろいろなケースで伺われます。是非、先生方には生徒理解、カウンセリング等に関わる研修も併せて積んでいただけたら、と思います。
- ・

令和6年度 長野県岩村田高等学校の教育方針と目標に対する評価

40岩村田

教育方針							
1 心身の調和のとれた健全な人間の育成							
2 協調性に富み、道理をわきまえ、円満な団体生活を営み得る人間の育成							
3 現代文化に貢献し得る基礎的学力を具備した人間の育成							
4 質実剛健にして勤労を愛好する人間の育成							
5 自主的・意欲的で創造性の豊かな人間の育成							
中期的長期的目標			今年度重点目標				
1	修養（岩高のこころ）を大切に し、変化の激しい社会を生き抜く 力を育成する。	1 探究的な学習活動において、生徒一人ひとりが対話力を磨き、他者との繋がりを意識した学びを醸成する。					
		2 生徒自らが主体的に学びに向かう姿勢を育てる。					
2	本校に寄せる地域の思いを積極的に に受け止め、開かれた学校づくり を進める。	3 教職員全員が人権感覚を持ち、いじめや体罰のない安心・安全な学校環境を整える。					
3	新学習指導要領の導入により、より 充実、工夫されたカリキュラム 編成を研究し、実施する。	4 保護者の思いを共感的に受け止め、共に育てる姿勢で日々の教育活動にのぞむ。					
		5 岩高の良さを積極的に発信し、地域との連携を大切にする。					
領域	分	今年度重点目標	具体的活動目標			A B C	まとめと今後の課題
教育課程・学習指導・進路指導・特別活動	教育課程 （今年度1） 探究的な学習活動において、生徒一人ひとりが対話力を磨き、他者との繋がりを意識した学びを醸成する。 （今年度2） 生徒自らが主体的に学びに向かう姿勢を育てる。	教育課程委員会 令和4年度入学生から実施している教育課程について課題を明確にし、本校の実情に即した形に改善することを目指す。また、カリキュラム編成と観点別評価を更に研究し、適切に実施できるようにする。		5	5	0	令和7年度2、3学年授業編成について、授業展開等表を選択希望調査の結果や教科の希望を受けて昨年度の専決から変更した。観点別評価については現在の評価ファイルの使用方法をまとめて評価方法の確認をすることができた。令和8年度以降の教育課程について月曜8コマタイプの解消を目指して引き続き議論を進めていく必要がある。
		探究係 1、2年生対象の「探究の時間」では、テキスト・ワークシートを用いた学習、個人・グループでの探究活動を行い、年度末には成果発表会を行う。学年を超えた活動を通じて、論理的・分析的思考とコミュニケーション能力を養う。また、単なる調べ学習で終わらせないために、地域のさまざまな機関と連携をしながら探究活動の深化を促す。		4	6	1	「単なる調べ学習にならないように」という目標達成のためにも、生徒自身がさらに意欲的に取り組めるような課題設定に導けるよう方法を研究する。これまでマイナーチェンジをしながら、探究が運営されてきたが、それを総括するような形で「岩高の探究」という形にまとめていくことが課題。そしてそのために、生徒観、指導観はじめ学校づくりについての議論を活発にしていける必要がある。
		進路係 生徒たちに確かな学力を身につけさせ、あらゆる機会を捉えて大学進学を中心とする各自の進路希望の実現に向け尽力する		7	4	0	進学を中心とした進路指導という基本的な方針は当面（学区内他校の再編の行われる前までは）変わることなく続けていくべきものであり、一定の結果は出ていると捉えている。入試方式の多様化、特に年内入試と言われる総合型、学校推薦型の拡大に伴う早期進路決定者と一般入試受験者がほぼ半々の中、入試直前期の指導のあり方を検討し、工夫していく必要がある。
		教務係 タブレット端末などのICT機器、WiFi環境の適切な配置と利用を進め、生徒が主体的に学習活動を進められる環境を整える。また、ICT機器を有効に活用していけるよう、研修を積む。		7	4	0	Wi-Fi環境が校舎内全域に整備され、どの場においてもICT機器（surface・iPad等）を用いた授業を行うことができた。またより効果的な教科指導や効率的な校務を行うために、教員向けの研修を2度実施した。引き続き、より有効に活用していけるように計画をしていきたい。
		生徒会係 自らの考えを仲間と共有しながら生徒会に関わる諸活動を主体的に実践し、課題解決能力を養うことができるように指導する。創立100周年を迎えるにあたり、地域とのつながりを大切にしながら新たな活動を模索していく。		8	3	0	生徒たちは、生徒会役員中心に各行事で主体的に問題に直面しながらも主体的に活動できた。地域とのつながりは、3回の駅前活動や仮市主催の外来生物（植物）駆除活動など積極的に参加した。また、100周年記念行事では様々な場面で中心となって活動した。
		1学年 探究の授業を通して自己の理解に努め、自分と社会のつながりを考える中で、探究すべき課題を見つけ、自ら学ぶようとする学習姿勢を身につけていけるよう指導する。		3	5	1	探究の授業の前半では、外部来客者のテキストを使用して、気づき、発表する力、実現する力等の基本を育成し、自己の理解にも繋げた。後半では、自らの進路を意識しつつグループで話し合い、探究活動の基本を学んだ。
		2学年 あらゆる場面の活動に対して主体的に取り組む。経験と視野を広げ個々の学びを深めることで、自ら学び向上しようとする姿勢を身につけていけるよう指導する。		3	5	0	自らの進路を意識して、主体的に学習に取り組む姿勢が見られ始めてきた探究活動では、学校外での体験や調査を行ったグループもあり、自主的な学びを深めることができた。進級後もさらに自らの進路に向け、自発的な取り組みを期待したい。
		3学年 これまで行ってきた自己分析と社会理解をより具体的な将来にむすびつけ、今取り組むべきことを考えさせ、着実に実行できるよう指導する。多くの情報を効率よく取得し有効に利用していく。こまめな面談により進路希望の明確化とその実現につなげて行く。		4	7	0	推薦入試や総合型入試を受ける生徒が増える中、探究学習の中で得た経験などを活用して入試に臨む者がいた。繰り返し行った面談を通じて進路希望を明確にし、保護者と連携してその実現に繋げる指導ができた。
		生徒指導係 生徒相談係や各担任等と連携を取りながら、いじめ等の早期発見に努める。情報モラル等の適切な指導については講演会を行ったり通信を発行したりして啓発に努める。		4	6	0	問題行動等の事象はなかったが、いじめとなりうる事象や厳重注意相当の指導案があった。生徒のマナーやモラルの感覚を養う指導の必要性を感じた1年だった。講習会や校風委員会との連携によって、さまざまな啓発活動に努めることはできた。
		生徒相談委員会 生徒が気軽に利用できる相談室の運営を行い、カウンセラーの相談へと繋げていく。また、外部機関の案内もさらに充実させる。毎週委員会を開催し、様々な相談に素早く対応できるように努めるとともに、「いじめ・悩みアンケート」や「アセスアンケート」等を行い、生徒一人ひとりの悩み・困り感に目を向けていく。		6	4	0	毎週行う委員会では、生徒一人ひとりの学年の様子をしっかりと把握することができ、非常に有意義なものであった。カウンセリングやSSWは生徒の状況を見て、助めることができた。心身の不調を訴える生徒が増えており、必要に応じて支援会議や教科担当委員会を行い、関係者と密に連絡を取りながら、外部機関を含めた会議も検討していきたい。
保護者連携	（今年度3） 教職員全員が人権感覚を持ち、いじめや体罰のない安心・安全な学校環境を整える。	PTA PTAの連携を深め、より多くの保護者の方が参加交流しやすいPTAを目指す。またPTA行事等への積極的な参加を呼びかけ、活動を通し学校の教育活動や生徒の成長に寄与できる取り組みにつなげる。		3	5	0	本校100周年記念行事協力や北信越大会地元開催を含め、学校祭でのバザー実施等、昨年に引き続き保護者役員協力のもと充実して行うことができた。
		1学年 日頃の生徒の様子や生徒の変化の連絡を密にとっていくなど、保護者が安心して生活できる学校を保障する。また、三者面談などで卒業後の進路希望や学校生活の悩みなどを共有し共通理解を深める。		1	7	0	日頃の生徒の様子や生徒の変化については、電話等で保護者から、学年会等で正副担任からの連絡をいただいた直後に双方間で密な連絡を取っている。また、二者面談の他に三者面談を2回行い、卒業後の進路希望を見通した来年度の選択科目決定や学校生活の悩みなどを共有した。
		2学年 保護者向け講演会や懇談会、学年通信など幾多の機会を通して生徒一人一人の社会的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育てるための必要な連携をしていく。		3	5	0	生徒との定期的な面談、年2回の保護者懇談、保護者向け進路講演会等を通じて進路希望や学校生活の悩みなどを共有してきた。学年進路通信等を通じて折々の学校の様子や行事予定、生活の指針などを発信してきた。
学校運営	（今年度4） 保護者の思いを共感的に受け止め、共に育てる姿勢で日々の教育活動にのぞむ。	3学年 生徒との面談、又は保護者向けの講演会、学年通信通信など、更には7月と12月の保護者懇談の場を中心に、保護者と意思疎通を図り、生徒の希望進路の実現に向けお互いに協力していく。		4	6	0	学年通信の発行回数が少なかったが、保護者懇談や進路講演会の際などに保護者との意思疎通を図ることができ、連携して進路実現をはかることができた。
		教務 100周年を迎えるにあたり、保護者や地域との連携をより深められるよう、ホームページ等を活用し、本校の日々の活動や学校行事の様子、進学などの情報を積極的に発信する。また、オクレンジャーも活用しながら、情報提供を行う。		5	5	0	各種行事等の情報発信をタイムリーに行うことができた。オクレンジャー等も活用し、情報提供に努めた。ホームページは、より学校の様子が分かるように今後も更新・改善をしていきたい。

令和7年度 長野県岩村田高等学校の教育方針と目標に対する評価 40岩村田

教育方針			
1	心身の調和のとれた健全な人間の育成		
2	協調性に富み、道理をわきまえ、円満な団体生活を営み得る人間の育成		
3	現代文化に貢献し得る基礎的学力を具備した人間の育成		
4	質実剛健にして勤労を愛好する人間の育成		
5	自主的・意欲的で創造性の豊かな人間の育成		
中期的長期的目標		今年度重点目標	
1	修養（岩高のこころ）を大切にし、変化の激しい社会を生き抜く力を育成する。	1	探究的な学習活動において、生徒が共働的な学びを通じて対話力を高め、他者とのつながりを意識した学びを醸成する。
2	本校に寄せる地域の思いを積極的に受け止め、開かれた学校づくりを進める。	2	生徒が自ら考え主体的に学び続ける姿勢と社会に柔軟に対応できる力を育てる。
3	新学習指導要領の導入により、より充実、工夫されたカリキュラム編成を研究し、実施する。	3	教職員一人ひとりが人権感覚を磨き、いじめや体罰のない安心・安全な学校づくりに取り組み、生徒、保護者の思いを共感的に受け止め共に成長していく姿勢で日々の教育活動に臨む。
		4	岩高の良さを積極的に発信し、地域との連携を大切にする中で本校の特色化を考える。
領域	分野	今年度重点目標	
		具体的活動目標	
教育活動	教育課程・学習指導・進路指導・特別活動	教育課程委員会 令和4年度入学生から実施している教育課程について課題を明確にし、本校の実情に即した形に改善することを目指す。また、カリキュラム編成と観点別評価を更に研究し、適切に実施できるようにする。	
		探究係 1、2年対象の「探究の時間」では、テキスト・ワークシートを用いた学習、個人・グループでの探究活動を行い、年度末には成果発表会を行う。学級を超えた活動を通じて、論理的・分析的思考とコミュニケーション能力を養う。また、単なる調べ学習で終わらないために、地域のさまざまな機関と連携しながら探究活動の深化を促す。	
		進路係 「生徒たちに確かな学力を身につけさせ、あらゆる機会を捉えて大学進学を中心とする各自の進路希望の実現に向け尽力する」	
		教務係 タブレット端末などのICT機器、WiFi環境の適切な配置と利用を進め、生徒が主体的に学習活動を進められる環境を整える。また、ICT機器を有効に活用していけるよう、研鑽を積む。	
		生徒会係 自らの考えを仲間と共有しながら生徒会に関わる諸活動を主体的に実践し、課題解決能力を養うことができるように指導する。今後も地域とのつながりを大切にした新たな活動を模索していく。	
		1学年 探究の授業を通して自己の理解に努め、自分と社会のつながりを考える中で、探究すべき課題や進路の方向性を見つけ、自ら学び、思考する学習姿勢を身につけていけるよう指導する。	
		2学年 あらゆる場面の活動に対して主体的に取り組み、経験や視野を広げ個々の学びを深めることで、自ら学び向上しようとする姿勢を身につけていけるよう指導する。	
		3学年 これまで行ってきた自己分析と社会理解をより具体的な将来にむすびつけ、今取り組むべきことを考えさせ、着実に実行できるよう指導する。多くの情報を効率よく取得し有効に利用していく。こまめな面談により進路希望の明確化とその実現につなげて行く。	
		生徒指導係 生徒相談係や各担任等と連携を取りながら、いじめ等の早期発見に努める。情報モラル等の適切な指導については講演会を行ったり通信を発行したりして啓発に努める。	
		生徒相談委員会 生徒が気軽に利用できる相談室の運営を行い、カウンセラーの相談へと繋げていく。また、外部機関の案内もさらに充実させる。毎週委員会を開催し、様々な相談に素早く対応できるように努めるとともに、「学校生活実態アンケート」等を行い、生徒一人ひとりの悩み・困り感に目を向けていく。	
学校運営	地域連携	PTA PTAの連携を深め、より多くの保護者の方が参加交流しやすいPTAを目指す。またPTA行事等への積極的な参加を呼びかけ、諸活動を通し学校の教育活動や生徒の成長に寄与する取り組みにつなげる	
		1学年 多様化する生徒の、日々の様子や変化についての連絡を密にとっていくなど、保護者が安心して生活できる学校を保障する。また、三者面談や個別面談などで卒業後の進路希望や学校生活の悩みなどを共有し共通理解を深める。	
		2学年 保護者向け講演会や懇談会など幾多の機会を通して生徒一人一人の社会的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育てるための必要な連携をしていく。	
		3学年 生徒との面談、又は保護者向けの講演会、学年通信など、更には7月と12月の保護者懇談の場を中心に、生徒や保護者と意思疎通を図り、生徒の希望進路の実現に向けお互いに協力していく。	
		教務 保護者や地域との連携をより深められるよう、ホームページ等を活用し、本校の日々の活動や学校行事の様子、進学などの情報を積極的に発信する。また、オクレンジャーも活用しながら、情報提供を多く行う。	